

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・外国語〉

特別研修員 外国語 三原田 智恵美 (小学校教諭)

単元名 『I want to go to Italy.』 (第5学年) 全8時間計画

## 単元のねらい

他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘うことができるようにする。

## 単元構想の意図

本単元では、つかむ過程で単元末の活動「他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘う」を教師とALTによるSmall Talkを基に示し、児童に学ぶ必然性を感じさせます。追究する過程では、必要な表現に慣れ親しませるために、単元末の活動を意識し、音声を繰り返し聞かせたり友達とやり取りをさせたりします。まとめる過程では、単元を通して学んできたことを生かすオーセンティックな言語活動を設定することで、何ができるようになったのかを自覚できるように構成しました。なお、外部人材の活用については、桐生市教育委員会の協力のもと5人のALTに来校してもらいました。

\*英語を使う必要のある実在する相手と、実際の目的をもって行う言語活動。

過程

### 主な学習活動

### 単元の見通しをもたせる

Small Talkをもとに単元のみあてを設定し、終末の自分の姿をイメージさせる。また、単元のみあてを達成するために、どんな学習をする必要があるか、児童から引き出し、学習の見通しをもたせる。

### 学ぶ必然性をもたせる

単元末に外部人材を活用し、オーセンティックな言語活動を設定することで、児童に学ぶ必然性を感じさせる。

### 主体性をもたせる

単元のみあての中に、自分の考えや思いを反映できたり自己決定できたりする要素を入れることで、課題を自分事として捉えさせる。

### 教科書の内容と並行して終末の内容を積み上げていく

教科書等を使い基本的な表現を習得した後、単元末で表現したい自分自身のことについてはどのように表現できるか、単元末の表現の仕方を考えさせることで、学んだことを活用する力を身に付けさせる。

### 繰り返しとスモールステップで定着を図る

既習表現や単元の中心となる言語材料を毎時間使いながら、**少しずつ新しい単語や表現**を増やし、定着を図る。また、「やり取り」のポイントに適宜示すことで、より自然な会話に近付けるようにする。



〈「やり取り」のポイント (質問・繰り返し・相づちや感想) の掲示〉→

### コミュニケーション能力を高める

ゲームやインタビュー活動など、他者と関わりながら多様な活動に取り組みせることで、楽しみながら新しい単語や表現を身に付けさせるとともに、他者理解やコミュニケーション能力を高める。

### 単元の学びを自覚させる

学んできたことを生かす場面設定をし、実際に外国人と英語でやり取りをする活動を通して、自分が話した英語が伝わった時の感動や伝えられなかったもどかしさを味わわせながら、学びを自覚させる。

### 満足感や達成感を全体で共有する

できるようになったことや感想などを全体で共有したり、教師が称賛したりすることで、今後の外国語学習への意欲や期待を高める。

つかむ (1)

### 1. 単元のみあてを把握する

- 教師とALTによるSmall Talkを聞き、単元のみあてをつかむ。

他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘おう

- 単元のみあてを達成するために必要な表現を考え、大まかな単元の流れを捉えて学習の見通しをもつ。

追究する (5)

### 2. 単元のみあてを追究する

- 行きたい国を尋ねたり答えたりし、行きたい国名を書き写したりする。

S 1 : Where do you want to go?  
S 2 : I want to go to ~.

※自分も行きたい桐生市のおすすめの場所を決め、英語で書き写す。

- 行きたい国でやりたいことを尋ねたり答えたりする。

S 1 : Where do you want to go?  
S 2 : I want to go to Italy.  
S 1 : Why?  
S 2 : I want to eat pizza.

※桐生市のおすすめの場所のできることを考える。

- デジタル教材の視聴やALTの母国の話を聞く。
- You can ~. Let's go! を使って、友達を旅行に誘う。

S 1 : Do you like pizza?  
S 2 : Yes, I do.  
S 1 : You can eat delicious pizza.  
I want to go to Italy. Let's go!

※教科書の内容と並行して、単元末で表現したいことを積み重ねていく。

※桐生市のおすすめの場所のできることをまとめる。

- 音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や表現を読む。

まとめる (2)

### 3. 単元のみあてについてまとめる

- 児童間で桐生市のおすすめの場所を伝え合う。
- 他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘う。
- 単元を通じて、英語でどんなことができるようになったか振り返ったり、感想を出し合ったりする。

S 1 : 質問をしたりおすすめを言ったりして誘えた。  
S 2 : 緊張したけど楽しかった。  
S 3 : もっと詳しくおすすめできるようになりたい。

指導のポイント

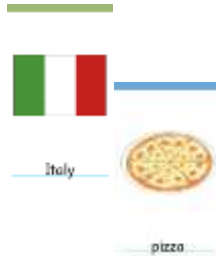
指導例：『I want to go to Italy.』

他校の ALT を桐生市のおすすめの場所に誘おう（第5学年 第1時）

1 あいさつ・Small Talk をする。

- 児童がこれまでに学習してきた表現を使う。
- 単元のめあてにつながる内容にする。

T : What do you want to do next summer?  
 ALT : I want to go traveling.  
 T : Good. What do you want to do?  
 ALT : I want to eat some delicious food.  
 T : Delicious food... Do you like pizza?  
 ALT : Yes, I do.  
 T : O.K. Look. This is Italy. You can eat margherita pizza.  
 It's so delicious. I want to go to Italy. Let's go!  
 ALT : That sounds nice. O.K. Let's go!



Small Talk で既習表現を復習し、本単元の見通しをもたせる

- 既習表現を使い、理解を促す。
- 意図的な既習表現の繰り返しで定着へとつなげる。
- 国旗や食べ物のイラストの提示により、興味関心を高め、理解を促す。
- 単元ゴールの姿として提示することで、学習の見通しをもたせる。

2 単元のめあてをつかむ。

- Small Talk を基に、学習の見通しをもたせる。

T : どんな内容を聞き取れたかな。  
 S : ピザが出てきた。  
 S : イタリアに行こうと言っていた。どこかの国に誘う学習かな。  
 T : とてもよいですね。ただ、ちょうど今、桐生市に新しい ALT の先生たちが来ました。その先生たちは桐生市のことをまだよく知りません。  
 S : それなら、桐生市のことを教えてあげたい。

単元のめあて 他校の ALT を桐生市のおすすめの場所に誘おう。

児童からめあてを引き出す

- Small Talk をすることで、内容を基に単元のめあてを確認できるようにする。
- 単元のめあてを達成するには、どんな学習をしたらよいか児童から引き出すようにする。
- 本時は何から学んでいったらよいか、児童から引き出すようにする。

3 本時のめあてをつかむ。

T : おすすめの場所に誘うためにはどんなことを学ぶ必要がありますか。  
 S : どこで何をしたいか尋ねられるようにする。  
 S : どこに行きたいかを尋ねられるようにする。  
 S : おすすめの場所でできることを伝えられるようにする。  
 T : では、いろいろな国について一緒に練習をしながら、桐生市の自分のおすすめすることを伝えられるようにしていきましょう。  
 S : はじめは国の勉強をしないと。

- めあてを提示する。

めあて 国名を聞き取ろう。

多様な言語活動で新しい言語材料に慣れ親しませる

- ゲームやクイズを取り入れることで、楽しい雰囲気の中で活動ができるようにする。
- 日本語との違いに気付いた児童のつぶやきを大切にす。
- 聞く活動を十分に行なった上で発話へとつなげる。
- 発話する際にもジングルやリズムに合わせながら、国名に慣れ親しませる。

4 本時の活動に取り組む。

- 国名を繰り返し聞いたり言ったりする。
    - 「Countries Jingle」で音声をよく聞き、はっきりとした声で繰り返し言わせる。また、日本語との違いに気を付けて聞くようにさせる。
    - 「キーワードゲーム」で国名を注意深く聞いたり言ったりさせる。
  - 国旗クイズをする。
    - できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションでやり方を示す。
- T : 1<sup>st</sup> hint ...Red. 2<sup>nd</sup> hint ...Yellow star. 3<sup>rd</sup> hint ...Five stars.  
 S : China!!

まとめと振り返りを工夫する

- めあてに沿って振り返りを行う。
- できるようになったこと、分かったことを実感させ、達成感をもたせる。
- できなかったこと、分からなかったことを確認させ、次時への目標をもたせる。
- よかった点を具体的に伝え、次時への意欲をもたせる。

5 本時のまとめ・振り返りをする。

- 言語面と内容面で振り返らせる。
- S : 国名が聞き取れた。（言語面）  
 S : 日本語の言い方と違う言い方をする国があった。（言語面）  
 S : もっとたくさんの国名の言い方を知りたい。（言語面）  
 S : アイルランドはどんな国なんだろう。（内容面）

指導のポイント

**指導例：『I want to go to Italy.』**  
**他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘おう（第5学年 第3時）**

**1 あいさつ・Small Talkをする。**  
 ○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。  
 ○本時のめあてにつながる内容にする。

T : Where do you want to go?  
 ALT : I want to go to India.  
 T : You want to go to India. Why?  
 ALT : Curry and rice.  
I want to eat curry and rice.  
 T : That sounds nice.

(少しずつ児童を巻き込む)  
 ALT: Where do you want to go?  
 S : France. I want to go to France.  
 ALT: Why?  
 S : Eiffel Tower!  
I want to see  
the Eiffel Tower.  
 ALT: Nice!

**2 本時のめあてをつかむ。**  
 ○Small Talkを基に、学習の見通しをもたせる。

T : どんな内容を聞き取れたかな。  
 S : 行きたい場所を尋ねたり答えたりしていた。  
 S : 食べたいものや見たいものを言っていた。  
 T : おすすめの場所を紹介するために、どこに行きたいかを尋ねたり答えたりできるようになりましたね。今日のめあては何ですか。  
 S : やりたいことを伝え合う。

○めあてを提示する。

めあて 行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりしよう。

**3 本時の活動に取り組む。**  
 (1) チャンツ・メモリーゲームを行う。  
 ○チャンツ「Where do you want to go ?」を歌いI want to ~. やYou want to ~. That sounds nice. など相手の話に反応した表現に慣れ親しませる。  
 ○「やり取り」を意識したメモリーゲームに取り組ませる。

S (全員) : Where do you want to go?  
 S 1~3 : I want to go to Italy.  
 S : You want to go to Italy. Why?  
 S 1 : I want to eat pizza.  
 S : You want to eat pizza. That sounds nice. How about you (S2)?  
 S 2 : I want to eat spaghetti.  
 S : You (1) want to eat pizza. You (S2) want to eat spaghetti.  
That sounds nice. How about you (3). ...

(2) インタビューをする。  
 T : 質問と答えだけでなく、他にどんなやり取りがありましたか。  
 S : 繰り返した。  
 「いいね」と言っていた。

「やり取り」のポイント  
 ① 繰り返し  
 ② 質問  
 ③ 相づち、感想

(3) 桐生市のおすすめの場所について考える。  
 ○おすすめのできることを日本語でまとめさせる。

**4 本時のまとめ・振り返りをする。**  
 S : 行きたい国でやりたいことを尋ねたり答えたりすることができた。(言語面)  
 S : That sounds nice. とか、Me, too. とかを言うことができた。(言語面)  
 S : Aさんが~が好きだということを初めて知って驚いた。(内容面)  
 S : ~に行きたい人がたくさんいて人気だった。(内容面)

Small Talkで既習表現を復習し、  
本時の見通しをもたせる

- 既習表現を用い定着を図る。
- デモンストレーション後、児童を巻き込んでやり取りをする。
- 児童の考えや気持ちを伝え合わせる。
- 意図的に本時のめあてとなる表現を繰り返し何度も聞かせる。
- はじめは単語だけで答えてもよいとする。

児童からめあてを引き出す

- Small Talkの話を確認することで、本時のめあてを児童から引き出す。
- 本時のめあてと単元のゴールとの関連を児童に意識させる。

やり取りのモデルを示す

- できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションで活動を示す。
- 目標とする「やり取り」に近い表現をリズムに乗せて繰り返し発話させることで、表現に慣れ親しませる。

自然なやり取りを意識させる

- より自然なやり取りになるよう、既習表現や簡単な単語を使って、以下のことを促す。
  - ①相手の言葉を繰り返す
  - ②相手の答えに関連した質問をする
  - ③相づちを打つ、感想を言う
- 教師やALT、代表児童がデモンストレーションを数回行うことで、児童のインプットを増やす。
- 活動の途中で模範となる児童を見付け、モデルとして全体に示す。(中間評価)

まとめと振り返りを工夫する

- めあてに沿って振り返りを行う。
- できるようになったこと、分かったことを実感させ、達成感をもたせる。
- できなかったこと、分からなかったことを確認させ、次時への目標をもたせる。
- よかった点を具体的に伝え、次時への意欲をもたせる。

**指導例：『I want to go to Italy.』**  
**他校の ALT を桐生市のおすすめの場所に誘おう（第5学年 第8時）**

**1 あいさつ・Small Talk をする。**  
 ○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。  
 ○本時のめあてにつながる内容にする。

T : I'm from Midori City. Do you know Midori City?  
 ALT : No, I don't. I want to go.  
 T : O.K. What do you want to do in Midori City?  
 ALT : I want to enjoy Midori City.  
 T : Oh, nice. Do you like museums?  
 ALT : Yes, I do.  
 T : Good. Look. (写真を見せる。) This is Iwajuku Museum.  
 You can see Mammoth bones. — Do you like hot springs?  
 ALT : Yes, I do.  
 T : Me, too. Look. (写真を見せる) This is Kenko Hot Spring. You can relax.  
 Oh, one more. Do you like watermelons?  
 ALT : Yes, I do.  
 T : Good. Look. (写真を見せる) This is my house. You can eat a watermelon.  
 Museum, hot spring, my house. Where do you want to go?  
 ALT : I want to go to the hot spring. Let's go!  
 T : Yes, let's!

**2 本時のめあてをつかむ。**  
 ○Small Talk を基に、学習の見通しをもたせる。  
 T : どんな話をしていましたか。  
 S : おすすめを言って誘っていた。  
 ○めあてを提示する。  
 めあて 他校の ALT に希望を聞き、桐生市のおすすめの場所に誘おう。

**3 本時の活動に取り組む。**  
 (1) 友達をおすすめの場所に誘う。  
 ○本時の活動に関わる表現を取り入れたチャンツを歌ったり、友達とやり取りをしたりし、これまでの学習を想起させる。  
 T : どんなりアクションをすることができましたか。  
 S : Good と言った。  
 S : Me too. とか Really? と言った。  
 (2) 他校の ALT をおすすめ場所に誘う。  
 S : What do you want to do in Kiryu City?  
 ALT : I want to enjoy Kiryu City .  
 S : Do you like mountains?  
 ALT : Yes, I do.  
 S : You like mountains.  
 Me, too.  
 Look. This is Mt. Azuma.  
 You can see a nice view.  
 I want to go to Mt. Azuma.  
 Let's go!  
 ALT : Oh, good!

**4 本時のまとめ・振り返りをする。**  
 S : おすすめの場所に誘うことができた。(言語面)  
 S : 次はもっと詳しくおすすめできるようになりたい。(内容面)  
 S : ~先生(他校の ALT)の好きな食べ物が分かった。(内容面)

**指導のポイント**

**Small Talk で既習表現を復習し、本時の見通しをもたせる**

- 既習表現を用いて理解を促す。
- 本時のゴールの姿を提示することで、見通しをもたせる。
- モデルを見せることで、本時の学習に対する必要感や意欲を引き出すようにする。

**児童からめあてを引き出す**

- Small Talk の話を確認しながら本時のめあてを児童から引き出す。

**自然なやり取りを意識させる**

- 単元を通して行った学習を短い時間で繰り返し、既習表現を想起させる。
- より自然なやり取りになるよう、既習表現や簡単な単語を使って、以下のことを促す。
  - ①相手の答えに関連した質問をする
  - ②相手の言葉を繰り返す
  - ③相づちを打つ、感想を言う

**学びを自覚する場を設定する**

- 本単元で学んだ表現を使わなければならない場面を設定し、学んだことを生かせるようにする。
- 活動の途中で模範となる児童を見付け、モデルとして全体に示す。(中間評価)
- 他校の ALT と一対一で話をする時間を十分にとり、直接的なやり取りや褒められる経験をさせることで、英語で伝え合う喜びを味わわせるとともに自信をもたせる。

**まとめと振り返りを工夫する**

- 本単元のねらいに沿った振り返りをする。
- できるようになったことを実感させ、達成感をもたせる。
- よかった点を具体的に伝え、今後の英語学習への意欲や期待を高める。



「やり取り」のポイント

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ 相づち、感想

※この活動は日本に来たばかりの他校の ALT を複数名招いて行っている。  
 (オーセンティックな活動)

# 外国語科学習指導案

平成30年9月～10月 第5学年 指導者 三原田 智恵美

## I 単元名 「I want to go to Italy.」

## II 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語科の目標及び内容

第2節 英語

1 目標

(3) 話すこと〔やり取り〕

イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

2 内容

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

ウ 話すこと〔やり取り〕

(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。

## III 目 標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア おすすめの国や桐生市のおすすめの場所を紹介する活動を通して、やりたいことや行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、おすすめの本や場所を書き写すことができる。(知識及び技能)

イ おすすめの国や場所について理由も含めて伝え合うことができる。

(思考、判断力、表現力等)

ウ 他者に配慮しながら、おすすめの本や場所について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／8）

- ねらい ジングルやキーワードゲーム、国旗クイズで国名を繰り返し聞いたり言ったりする活動を通して、国名の言い方を聞き取ることができるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・Small Talkをする。（3分）	<ul style="list-style-type: none"><li>○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。</li><li>○単元のめあてにつながる内容にする。</li><li>○イラストを使い、児童に理解しやすい工夫をする。</li></ul>		
2 単元のめあてをつかむ。（5分）	<ul style="list-style-type: none"><li>○Small Talkを基に、学習の見通しをもたせる。</li></ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元のめあて 他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘おう。</div> <ul style="list-style-type: none"><li>○友達やALTをおすすめの場所に誘うには、何を学んだらよいか考えさせる。</li></ul>		
3 本時のめあてをつかむ。（2分）	<ul style="list-style-type: none"><li>○本時のめあてを児童の発言を基に提示する。</li></ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 国名を聞き取ろう。</div>		
4 本時の活動に取り組む。（30分）	<p>(1) 国名を繰り返し聞いたり言ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「Countries Jingle」で音声をよく聞き、はっきりとした声で繰り返し言わせる。</li><li>○「キーワードゲーム」で国名を注意深く聞いたり言ったりさせる。</li></ul> <p>(2) 国旗クイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションでやり方を示す。</li><li>○児童がこれまでに学習してきた表現を使ってヒントを出し、どこの国の旗か問題を出す。</li><li>○国旗を通し、国名に興味・関心をもたせる。</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">国名を英語で聞き取ることができる。＜行動観察・振り返りカード点検（3）＞</div>		
5 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）	<ul style="list-style-type: none"><li>○めあてを再度確認し、できたことやできなかったこと、分かったことや気付いたことは何か問い、めあてに沿った振り返りをさせる。</li><li>○意欲的に活動したことを称賛する。</li></ul> <p>☆ 国名を聞き取ることができた。〔言語面〕</p> <p>☆ 日本語の言い方と違う言い方をする国があった。〔言語面〕</p> <p>☆ アイルランドはどんな国なんだろう。〔内容面〕</p>		

**V 本時の展開 (3/8)**

1 ねらい チャンツやメモリーゲーム、インタビュー活動を通して、行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりすることができるようにする。

**2 展開**

学習活動 (分)	○ : 留意点    点線囲 : 評価    ☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・Small Talkをする。(5分)</p> <p>○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。</p> <p>○本時のめあてにつながる内容にする。</p>	<p>〈本時の表現例〉</p> <p>児 1 : Where do you want to go ?</p> <p>児 2 : I want to go to Italy.</p> <p>児 1 : ①You want to go to Italy.</p> <p>          ②Why?</p> <p>児 2 : I want to eat pizza.</p> <p>児 1 : ③That sounds nice.</p>
<p>2 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>○Small Talkを基に、学習の見通しをもたせる。</p>	
<p>めあて 行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりしよう。</p>	
<p>3 本時の活動に取り組む。(30分)</p> <p>(1) チャンツ・メモリーゲームを行う。</p> <p>○チャンツ「Where do you want to go?」を歌い、I want to ○○.やYou want to ○○. That sounds nice. など相手の話に応じた「やり取り」に慣れさせる。</p> <p>○日本語を介さず、デモンストレーションで活動を示す。</p> <p>○「やり取り」のポイントを意識させながら繰り返しリズムに乗せて発話するよう促す。</p> <p>(2) インタビューをする。</p> <p>○日本語を介さず、デモンストレーションでやり方を示す。</p> <p>○「やり取り」のポイントを意識させ、活動が活発になるようにする。</p> <p>○活動の途中で模範となる児童を、モデルとして全体に示す。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">&lt;行動観察・振り返りカード点検 (2) &gt;</p> <p>(3) 桐生市のおすすめの場所について考える。</p> <p>○おすすめの場所でできることを日本語でまとめさせる。</p>	<p style="text-align: center;">「やり取り」のポイント</p> <p>① くり返し (You want to go to Italy.)</p> <p>② 質問 (Why?)</p> <p>③ 相づち (That sounds nice.)</p>
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</p> <p>○めあてを再度確認し、できたことやできなかったこと、分かったことや気付いたことは何か問い、めあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○意欲的に活動したことを称賛する。</p> <p>☆ 行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりすることができた。〔言語面〕</p> <p>☆ Aさんが○○が好きだということを初めて知って驚いた。〔内容面〕</p>	

## V 本時の展開（8／8）

- 1 ねらい おすすめの場所について理由を含めて説明したり、自分の考えや気持ちなどを伝えたりする活動を通して、他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘うことができるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・Small Talkをする。（3分）</p> <p>○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。</p> <p>○本時のめあてにつながる内容にする。</p>			<p style="text-align: center;">〈単元末の表現例〉</p> <p>児：What do you want to do in Kiryu? ALT：I want to enjoy Kiryu.</p> <p>児：①Do you like mountains? ALT：Yes, I do.</p> <p>児：②You like mountains. ③Me too. Look. This is Azuma-yama. You can see a nice view. I want to go to Azuma-yama. Let's go!</p>
<p>2 本時のめあてをつかむ。（2分）</p> <p>○Small Talkを基に、学習の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 他校のALTに希望を聞き、桐生市のおすすめの場所に誘おう。</p> </div>			
<p>3 本時の活動に取り組む。（35分）</p> <p>（1）友達をおすすめの場所に誘う。</p> <p>○本時の活動に関わる表現をリズムに合わせて発話することで、表現に慣れさせるとともにこれまでの学習を想起させる。</p> <p>○本単元で慣れ親しんできた語句や表現を活用できるよう、モデルを示す。</p> <p>○「やり取り」のポイントを意識させ、活動が活発になるようにする。</p> <p>（2）他校のALTをおすすめの場所に誘う。</p> <p>○できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションでやり方を示す。</p> <p>○「やり取り」のポイントを意識させ、活動が活発になるようにする。</p>			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>他校のALTに希望を聞き、桐生市のおすすめの場所に誘うことができる。</p> <p>&lt;行動観察・振り返りカード点検（1）（2）&gt;</p> </div>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）</p> <p>○めあてを再度確認し、できたことやできなかったこと、分かったことや気付いたことは何か問い、めあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○意欲的に活動したことを称賛する。</p> <p>☆ おすすめの場所に誘うことができた。〔言語面〕</p> <p>☆ ○○先生（他校のALT）の好きな食べ物が分かった。〔内容面〕</p>			



指導計画 外国語科 第5学年 単元(題材)名「I want to go to Italy.」(全8時間計画)

目標	<p>以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。</p> <p>ア おすすめの国や桐生市のおすすめの場所を紹介する活動を通して、やりたいことや行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、おすすめの本や場所を書き写すことができる。(知識及び技能)</p> <p>イ おすすめの国や場所について理由も含めて伝え合うことができる。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 他者に配慮しながら、おすすめの本や場所について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとしている。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 他者に配慮しながら、意欲的におすすめの本や桐生市のおすすめの場所について説明している。(コミュニケーションに対する関心・意欲・態度)</p> <p>(2) おすすめの本や桐生市のおすすめの場所を紹介する活動を通して、やりたいことや行きたい場所について、伝え合うことができる。また、おすすめの本や場所を書き写すことができる。(表現の能力)</p> <p>(3) 国名やそれぞれの国でできること、やりたいことや行きたい場所を聞き取ることができる。音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や表現を読み、意味が分かる。(理解の能力)</p> <p>(4) おすすめの場所に誘うための表現を理解している。(言語や文化に関する知識・理解)</p>		
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り(意識)  ◇評価項目 〈方法(観点)〉
つかむ	1	<p>◎Small Talkを通して、単元のめあて「他校のALTを桐生市のおすすめの場所に誘おう」を示す。</p> <p>○ジングルやキーワードゲーム、国旗クイズで国名を繰り返し聞いたり言ったりする活動を通して、国名の言い方を聞き取ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">国名を聞き取ろう。</div>	<p>☆国名を聞き取ることができた。</p> <p>☆日本語の言い方と違う言い方をする国があった。</p> <p>☆アイルランドはどんな国なんだろう。</p>
追究する	2	<p>○ミッシングゲームや国名ビンゴゲームで繰り返し聞いたり言ったりする活動を通し、どの国に行きたいかを尋ねたり答えたりすることができるようにする。</p> <p>○ビンゴゲームを通し、自分の行きたい国名を書き写すことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">どの国に行きたいかを尋ねたり答えたりし、自分の行きたい国名を書き写そう。</div>	<p>☆どこの国に行きたいかを尋ねたり答えたりすることができた。</p> <p>☆国名を書き写すことができた。</p>
	3	<p>○チャンツやメモリーゲーム、インタビュー活動を通して、行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりしよう。</div>	<p>☆行きたい国でやりたいことを、尋ねたり答えたりすることができた。</p> <p>☆Aさんが〇〇が好きだということを初めて知って驚いた。</p>
	4	<p>○デジタル教材を視聴したり、ALTの母国の紹介を聞くことを通して、それぞれの国でできることを聞き取ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">それぞれの国でできることを聞き取ろう。</div>	<p>☆それぞれの国でできることを聞き取ることができた。</p>
	5	<p>○「どこの国でしょう」クイズや友達を旅行に誘う活動を通して、おすすめの本や場所について、You can ～. Let's go!の表現を使って伝え合うことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">You can ～. Let's go!を使って、友達を旅行に誘おう。</div>	<p>☆you can ～. Let's go!を使って、友達を旅行に誘うことができた。</p>

	6	<p>○音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や表現で書かれた「どこの国で何をしたいでしょう」クイズに答える活動を通して、読んで理解できるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">英語を読んでクイズに答えよう。</p>	<p>☆英語を読んで、クイズに答えることができた。</p>	<p>◇音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や表現を読み、理解している。〈行動観察・振り返りカード点検(3)〉</p>
まとめ	7	<p>○理由を含めておすすめの方法を伝え合う活動を通して、桐生市のおすすめの方法を紹介することができるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">理由を含めておすすめの方法を伝え合おう。</p>	<p>☆おすすめの方法を紹介することができた。</p>	<p>◇理由を含めておすすめの方法を紹介することができる。〈行動観察・振り返りカード点検(1)(2)〉</p>
	8	<p>○おすすめの方法について理由を含めて説明したり、自分の考えや気持ちなどを伝えたりする活動を通して、他校のALTを桐生市のおすすめの方法に誘うことができるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">他校のALTに希望を聞き、桐生市のおすすめの方法に誘おう。</p>	<p>☆おすすめの方法に誘うことができた。 ☆○○先生(他校のALT)の好きな食べ物が分かった。</p>	<p>◇他校のALTに希望を聞き、桐生市のおすすめの方法に誘うことができる。〈行動観察・振り返りカード点検(1)(2)〉</p>